

「子ども第三の居場所」の開設と運営支援

2021 年度 事業報告書

2023 年 6 月
B&G 財団 企画課

○目的・実施背景

近年、家庭の抱える困難が複雑・深刻化し、地域のつながりも希薄になる中で、安心して過ごせる居場所がなく、孤立してしまう子どもも少なくない。日本財団は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む「子ども第三の居場所」の設置を全国で推進している。

このような中、B&G 海洋センター所在自治体等において、日本財団が推進する「子ども 第三の居場所」をモデルに、子供が安心・安全に過ごすことができる居場所を設置し、学習支援・生活支援ほか、海洋センターのノウハウを活かした多様な体験を提供することにより、子供の将来の 自立に必要な力を育むことを目的とする。

○事業内容

1. 「子ども第三の居場所」開設・運営費助成と開設運営支援

「子ども第三の居場所」を開設・運営する拠点を対象に、開設・運営助成金の決定および交付を行った。

- (1) 運営費支援
- (2) 開設費支援
- (3) 各式典の開催

2. 拠点スタッフ研修の実施

「子ども第三の居場所」を運営する自治体担当者および拠点マネージャーを対象に、各拠点進捗報告や外部講師による講義など、拠点の円滑な運営に繋げるための研修会を実施した。

3. オンラインイベントの開催

「子ども第三の居場所」全拠点を対象に、拠点での支援の充実および拠点間の交流を目的としたオンラインでのイベントを複数回開催した。

○事業内容詳細

1. 「第三の居場所」運営支援

(1) 運営費支援

「子ども第三の居場所」を運営している 14 自治体 15 か所を対象に、人件費や光熱水費、プログラム実施に係る費用など、拠点運営に係る費用等を支援するため、下記のとおり運営助成金の決定および交付を行った。

| No | 拠点名 | 運営助成金決定額 | 支払い済み額 |
|----|--------|-------------|-------------|
| 1 | 茨城県笠間市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 2 | 埼玉県嵐山町 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 3 | 新潟県胎内市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |

| | | | |
|-----|------------------|--------------|--------------|
| 4 | 島根県雲南市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 5 | 大分県杵築市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 6 | 長野県大町市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 7 | 北海道東神楽町(中央) | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 8 | 石川県穴水町 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 9 | 北海道東神楽町(東聖・ひじり野) | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 10 | 新潟県燕市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 11 | 北海道積丹町 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 12 | 岡山県備前市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 13 | 岡山県美作市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 14 | 京都府南丹市 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 15 | 岡山県奈義町 | 20,000,000円 | 20,000,000円 |
| 合 計 | | 300,000,000円 | 300,000,000円 |

(2) 開設費支援

「子ども第三の居場所」を開設する2自治体2か所を対象に、施設改修に係る工事費等を支援するため、下記のとおり開設助成金の決定および交付を行った。

| No | 拠点名 | 運営助成金決定額 | 支払い済み額 |
|-----|-----------|--------------|-------------|
| 1 | 鹿児島県南さつま市 | 50,000,000円 | 49,466,000円 |
| 2 | 長野県上松町 | 50,000,000円 | 50,000,000円 |
| 合 計 | | 100,000,000円 | 99,466,000円 |

(3) 各式典の開催

①協定書調印式

2020年度開設自治体であるが、新型コロナウイルスの影響により調印式が延期となっていた岡山県美作市(英田)および新潟県燕市の協定書調印式を行った。

| 日程 | 場所 | 出席者 |
|----------------|----------|------------------------|
| 2021年11月10日(水) | 美作市民センター | 美作市長、副市長、教育長、B&G財団理事長等 |
| 2021年12月22日(水) | 燕市役所 | 燕市長、教育長、B&G財団理事長等 |

《協定書調印式》



協定書調印式(岡山県美作市)



協定書調印式(新潟県燕市)

2. 拠点スタッフ研修の実施

「子ども第三の居場所」を運営する自治体担当者および拠点マネージャーを対象に、各拠点進捗報告や外部講師による講義など、拠点の円滑な運営に繋げるために以下の研修会を実施した。

(1) フォローアップ研修会

「子ども第三の居場所」を運営する全拠点を対象に、拠点運営の向上に繋げることを目的とした研修会を開催。各拠点の進捗報告や先行拠点の視察、事例発表等を行った。

- ・実施日：2021年12月16日（木）～17日（金）
- ・場 所：フレンド・プラザ大町、b&g大町
- ・参加者：全 15 自治体 16 拠点の自治体担当者および拠点マネージャー 等
計 45 名（現地出席者 31 名、リモート参加者 14 名）
- ・内容：各拠点の進捗報告、外部講師による講義「子どもたちの自己肯定感の育み方」、大町拠点見学、事例発表「自己肯定感を育む支援」、拠点の運営内容等に関するディスカッション等

《研修会の様子》



各拠点進捗報告



外部講師の講演



事例発表（杵築拠点）



事例発表（東神楽拠点）



大町拠点見学



大町拠点甘利マネージャーによる
拠点活動報告



拠点内を見学する参加者

《参加者の声（一部抜粋）》

- ・自治体それぞれのニーズに合わせた各拠点独自の取り組みの報告を聞いて参考になった。それらを当拠点にあった形に落とし込み、できる範囲で実施していきたい。
- ・特性のある児童対応だけでなく、職員育成にも参考となる内容でした。
- ・実際に他の拠点を視察できて、大変参考になった。自分の拠点でも取り入れられることは取り入れたいと思った。

(2) 拠点自立化研修

- ・実施日：2021年6月25日（金）、6月29日（火）
- ・場 所：オンライン開催
- ・対 象：2022年度運営自立化する8自治体9カ所にの自治体担当者および拠点マネージャー等28人
- ・内 容：拠点進捗報告、先行拠点の事例発表、質疑応答

《参加者の声（一部抜粋）》

- ・自立化拠点（広島県尾道市）から自立化に向けての具体的なスケジュールや補助金の内容を教えていただき、やるべきことが明確になった。

(3) マネージャー現場研修

- ・実施日：2021年11月29日（月）～12月1日（水）※2泊3日
 - ・場 所：大分県杵築市
 - ・参加者：岡山県奈義拠点マネージャー
- ※奈義拠点は2020年度開設だが、新型コロナウイルス感染症の影響で2020年度実

施できなかったため、2021年度に実施。

※その他、積丹拠点、南丹拠点も予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年度の実施も出来なかった。

- ・内容：3日間の拠点運営の参加、拠点が抱える課題について相談等

《参加者の声（一部抜粋）》

- ・現場を見せていただくことは有意義だった。奈義拠点でも拠点の目的を定め、児童個人の支援計画と成長記録を共有できる形に変えていきたい。

3. オンラインイベントの開催

「子ども第三の居場所」を運営する全拠点を対象に、拠点での支援の充実や拠点間交流等を目的としたオンラインイベントを開催。クイズや工作教室等、様々なレクリエーションを通じて、拠点同士の交流を深めた。

- ・時 期：2021年5月～2022年2月（計5回）
- ・場 所：各拠点（オンライン）
- ・対 象：B&G財団支援拠点、日本財団支援拠点（562人が参加）
- ・内 容：クリスマスイベント、レクリエーション、工作教室 等

《参加者の声（一部抜粋）》

- ・分かりやすい教材で低学年でも一人で取り組むことができ、高学年はフォトフレームなどを工夫して、内容を深めることができた。
- ・子ども達にとってリモートでの各拠点の様子も楽しみになっている。
- ・いろんな拠点の様子や作品を見ることが出来て、子どもたちだけでなく私たちスタッフも楽しむことができた。

《オンラインイベントの様子》



以上